

わくわくキャンプ生活



テントを張る呉羽丘陵たんけん隊の参加者ら

児童ら呉羽丘陵を探検

【富山】「呉羽丘陵たんけん隊」が10日、富山市西金屋のくれは山荘保養館で始まり、県内の小学生が自然の中で夏のキャンプを楽しんだ。北日本新聞社後援。

【webbunに写真3枚】

冒険心を持って自然を体験し、生きる力を身に付けてもらおうと、里山再生に取り組み富山市のNPO法人「さんたろう倶楽部」が毎年実施。小学4～6年生9人が参加し、同倶楽部と県内の大学生らでつくるサークル「Tree's Co. (レスコ)」のメンバーが運営した。

ゲームを通して交流した後、3グループに分かれてテントを設営した。協力しながら組み立て、金具を打ち込んで固定した。自然散策にも出掛け、食材にするミョウガを採った。

キャンプは3日間の日程で、2日目は呉羽丘陵を「探検」し、最終日は市ファミリーパークで馬の世話や乗馬などを体験する。

高岡市千鳥丘小6年の飯沼敦英君は「去年とても楽しかったので、こどもも参加した。野外炊飯が特に楽しみ」と話していた。

北日本新聞 平成27年8月11日(火)